P Z

液晶デジタルカメラ

QV-2100

取扱説明書（保証書付き）

ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買上げ頂き、まことにありがとうございます。

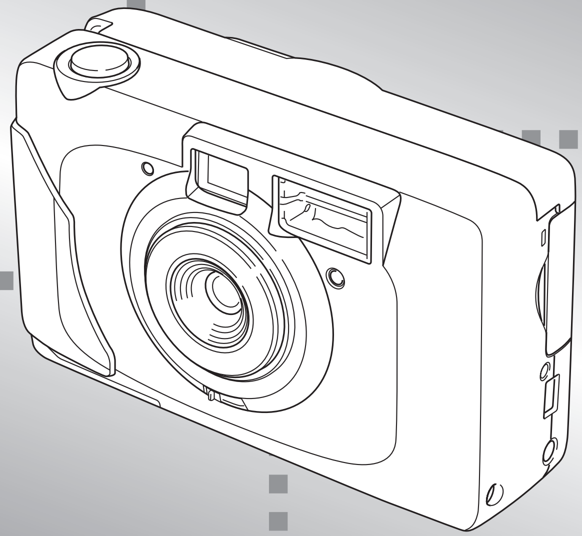
本機は、撮影した内容をその場で見ることができる液晶カラーモニターを備えた、コンパクトタイプの液晶デジタルカメラです。本機をご使用になる前に、必ず「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

SD™

PRINT Image Matching™

DPOF™



CASIO

J

はじめに

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。

絵表示の例

	⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。
	● 記号は「しなければならないこと」を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

危険

アルカリ電池について



- アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。
   そのままにしておくと失明の原因となります。

警告

煙、臭い、発熱などの異常について



- 煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

⚠ 警告

電池について

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 分解しない、ショートさせない
  - 加熱しない、火の中に投入しない
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - 種類の違う電池を混ぜて使用しない
  - 充電しない
  - 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れる

  充電式電池の「安全上のご注意」は充電式電池の取扱説明書をご参照ください。

AC アダプター（別売品）について

- AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 必ず別売の本機専用品を使用する
  - 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
  - １つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
- ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 重いものを乗せたり、加熱しない
  - 加工したり、無理に曲げない
  - ねじったり、引っ張ったりしない
  - 電源コードやプラグが傷んだら、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する
- 濡れた手でACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。

火中に投入しない

- 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

移動しながら撮影しない

- 自動車などの運転中や歩行中に撮影したり、モニターを見ないでください。転倒、交通事故の原因となります。

⚠ 警告

フラッシュについて

- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれがある場所では使用しないでください。引火・爆発の原因となります。
- 運転者に向けてフラッシュを使用しないでください。目がくらんで運転不可能になり、事故を起こす原因となります。

水、異物はさける

- 水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。雨天、降雪中、海岸、水辺、風呂場での使用は特にご注意ください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

分解・改造しない

- 本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ·サービスステーションにご依頼ください。

落とさない、ぶつけない

- 本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

注意

電池について

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しない
  - 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

  充電式電池の「安全上のご注意」は充電式電池の取扱説明書をご参照ください。

AC アダプター（別売品）について

- AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
  - プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ず AC アダプターを持って抜く）
  - プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
  - 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
  - プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように清掃する

コネクター部への接続

- コネクター部には、指定以外の別売品を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

置き場所について

- 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
  - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

⚠ 注意

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

大切なデータは控えをとる

- 本機に記憶させた内容は、パソコンなどに転送してバックアップとして保管してください。本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

メモリー保護

- 電池交換を行う際は、取扱説明書をよくお読みになり、正しく行ってください。電池交換のしかたを誤ると、データが消えたり、変化したりすることがあります。

フラッシュについて

- フラッシュを人（特に顔）に向けて至近距離で発光させないでください。視力の低下などの障害を起こす原因となることがあります。

持ち運びのとき

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故の原因となることがあります。

■ ご注意 ■

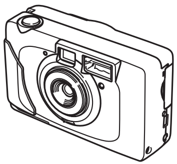
電池持続時間について

- 本取扱説明書に記載の電池持続時間は、推奨メーカーの電池を標準温度（25℃）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。
  （持続時間は電池メーカー、電池製造時期、周囲温度により大きく左右されます。）
- 連続してご使用になりますとバッテリー警告が早く出ますので、使用しないときは、こまめに電源を切る事をお勧めします。
- バッテリー警告マークは電源が切れる寸前であることを示しております。
  交換の際はすべて新しい電池と交換してください。
  消耗した電池での連続使用は液漏れやデータ破壊の原因となることがあります。

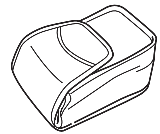
付属品の確認

箱を開けたら、まず下記の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、付属品が全部そろっていなかった場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

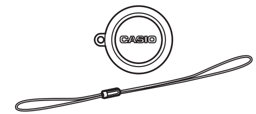
デジタルカメラ本体



ソフトケース

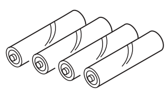


レンズキャップ／キャップホルダー

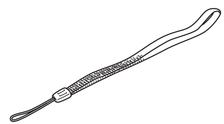


- レンズキャップは出荷時にデジタルカメラ本体に装着されています。

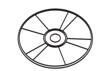
アルカリ電池（単3形×4）



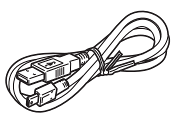
ストラップ



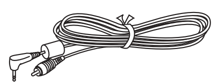
CD-ROM



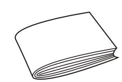
USBケーブル



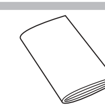
専用ビデオコード



取扱説明書



取扱説明書
（保証書付き）



専用ソフト取扱説明書
（インストール編）

目次

はじめに 2

■安全上のご注意 2
■付属品の確認 7
■目次 8
■あらかじめご承知いただきたいこと 12
■本機の特徴 13
■使用上のご注意 14
データエラーのご注意 14
使用環境について 14
結露について 14
蛍光管について 14
レンズについてのご注意 15

準備する 16

■各部の名称 16
前面部 16
背面部 16
端子部 17
底面部 17
■液晶モニターの表示内容 18
撮影モード時 18
再生モード時 19
■ランプについて 19
■付属品の使いかた 20
レンズキャップの取り付けかた 20
ストラップの取り付けかた 20
ソフトケースの使いかた 21
■電源について 21
電池を使う 21
家庭用電源を使う 23
電源を入れる／切る 25
電池の消耗をおさえるための機能 25
■日時の設定 26
日付と時刻を設定する 26

撮影する 28

■基本的な撮影 28
撮影時の画面のご注意 29
撮影時のご注意 29
■ズームについて 30
■フラッシュについて 30
フラッシュの状態について 31
フラッシュ使用時のご注意 31
■近くの物を撮影する 32
■ファインダーを使用した撮影 33
■連続撮影する（連写モード） 33
連続撮影の枚数を変える 34
■セルフタイマーを使う
（セルフタイマーモード） 35
■画像のサイズと画質を変える 36
サイズを変更する 36
画質を変更する 36
■露出を補正する 37
■ホワイトバランスを変える 39
■撮った画像を確認する 39
■メモリーカードについて 40
メモリーカードを入れる 40
メモリーカードを取り出す 41
メモリーカードをフォーマットする 42
メモリーカードのご注意 42
メモリーカードに画像をコピーする 43

再生する 44

■基本的な再生のしかた 44
■画像を拡大して表示する 44
■画像を自動的にページめくりさせる
（スライドショー） 45

消去する 46

■選択して消去する 46
■全画像を消去する 47

画像の管理について 48

■フォルダの分類について 48
メモリー内のフォルダについて 48
■撮影した画像の消去防止をする
（メモリープロテクト） 49
選択して消去防止する 49
全画像を消去防止する 50
■DPOF機能について 50
選択して印刷の設定をする 51
全画像に印刷の設定をする 52
■PRINT Image Matchingについて 53

その他の設定について 54

■画面表示のオンオフ 54
■表示言語を切り替える 54
■操作音のオンオフ 55
■USBモードを切り替える 55

他の機器との接続 57

■テレビに画像を映し出す 58
ビデオ出力の方式を変更する場合 58
■撮影画像をパソコンに取り込む 59
USB端子での接続 59
接続のしかた 59
USB接続のはずしかた 60
メモリーカードを直接接続する 60
メモリーカード内のデータについて 61
DCF規格について 61
メモリーカード内のディレクトリ構造 62
このデジタルカメラで扱える画像ファイル 62
パソコン上でメモリーカードを扱うときの注意点 62
■PCカメラとして使用する（PCカメラモード） 63
接続のしかた 63
別途ご準備頂きたいこと 64
PCカメラとして使用する場合のご注意 64
パソコンとの接続について 64

付録 65

■メニュー一覧表 65
撮影モード 65
再生モード 65
■ランプの状態と動作内容 66
撮影モード 66
再生モード 67
■故障とお思いになる前に 68
現象と対処方法 68
画面に表示されるメッセージ 71
■サービスステーション／相談窓口 73
■保証規定 74
■保証・アフターサービスについて 75
■索引 76
■QVNetのお知らせ 79

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部又は全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- デジタルカメラを使って撮影したものは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(ＶＣＣＩ)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の商標です：

- SDロゴは登録商標です。
- Windows、およびInternet Explorerは米国マイクロソフト社の商標です。
- Macintoshは米国アップルコンピューター社の商標です。
- MultiMediaCard™は、ドイツInfineon Technologies AG社の商標であり、MMCA(MultiMediaCard Association)へライセンスされています。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

本機の特徴

- 有効画素数2.0メガの高画質CCD搭載（総画素2.1メガ）
- 液晶モニターに1.5型TFT型カラー液晶搭載
- 2倍デジタルズーム搭載
- 16MBフラッシュメモリー内蔵
  メモリーカードを使用しなくても撮影ができます。
- 拡張用メモリーカードとしてSDメモリーカード、マルチメディアカードに対応
- DPOF（Digital Print Order Format）対応
  カメラでプリントしたい画像を指定。DPOF対応のプリンターで簡単にプリントアウトができます。また、DPOF対応のサービスラボでもプリントの注文ができます。
- PRINT Image Matching対応
  PRINT Image Matching対応のプリンターを使用すれば、画像データに記録された撮影モードの情報などから、撮影意図を忠実に再現したプリントが可能になります。
- DCF（Design rule for Camera File system）対応
  DCF規格対応の他社のデジタルカメラやプリンターなどと画像の互換性があります。
- ビデオ出力端子搭載
  撮影した画像を簡単にご家庭のテレビでご覧いただけます。
- USB接続対応
  パソコンに簡単にデータを取り込むことができます。
- PCカメラ機能
  パソコンと接続してビデオ会議用のカメラとして使用できます。
- 撮影した画像をパソコンで管理、活用できるソフトが付属
  パソコンリンクソフトPhoto Loader、画像加工・印刷ソフトPhotohandsが付属のCD-ROMに収録されています。
- 最大5枚の連続撮影（連写モード）
- 20cmまで接写が可能

使用上のご注意

データエラーのご注意

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

  – 記録､通信中に電池をはずしたり､ACアダプターをはずした
  – 撮影中などにメモリーカードを抜いた
  – 電源をOFFにしたときに【動作確認用ランプ】が点灯している状態で電池やACアダプターを抜いた、【メモリーカードカバー】を開けた、メモリーカードを抜いた
  – 通信中のケーブルはずれ
  – 消耗した電池を使用し続けた
  – その他の異常操作

このような場合、次の表示が出ましたら、画面に対応したご処置をお願いいたします。

- カードエラー
- 内部メモリーエラー

→ 画面に表示されるメッセージとその対処方法。（71ページ）

使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、0℃～40℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
  – 直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所
  – 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
  – 日中の車内、振動の多い場所

結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に充分慣らしてから取り出して、電池ブタを開けたまま数時間放置してください。

蛍光管について

- 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。液晶画面が暗くなったり、チラつく場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーション（73ページ）までご連絡ください。有償にてお取り替え致します。蛍光管の寿命は、一日2時間のご使用で約5年間です。
- 低温でご使用の場合は、バックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤味を帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。

レンズについてのご注意

- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮されませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

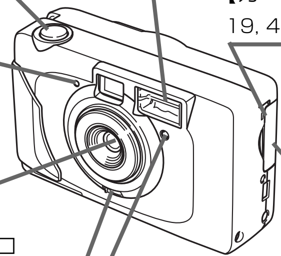
準備する

初めてご使用になるかたはここからお読みになり、撮影前の準備を行ってください。

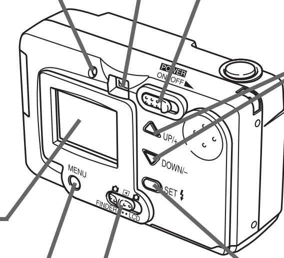
各部の名称

この取扱説明書では、本機の各部の名称を次のように【　】を使って表記します。スイッチやボタンなどの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

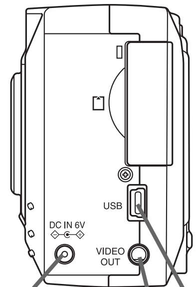
前面部



背面部



端子部



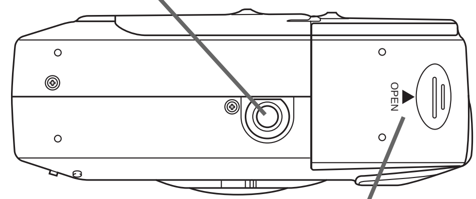
【DC IN 6V】
23ページ

【USB】
57, 59, 63ページ

【VIDEO OUT】
57, 58ページ

底面部

【三脚穴】

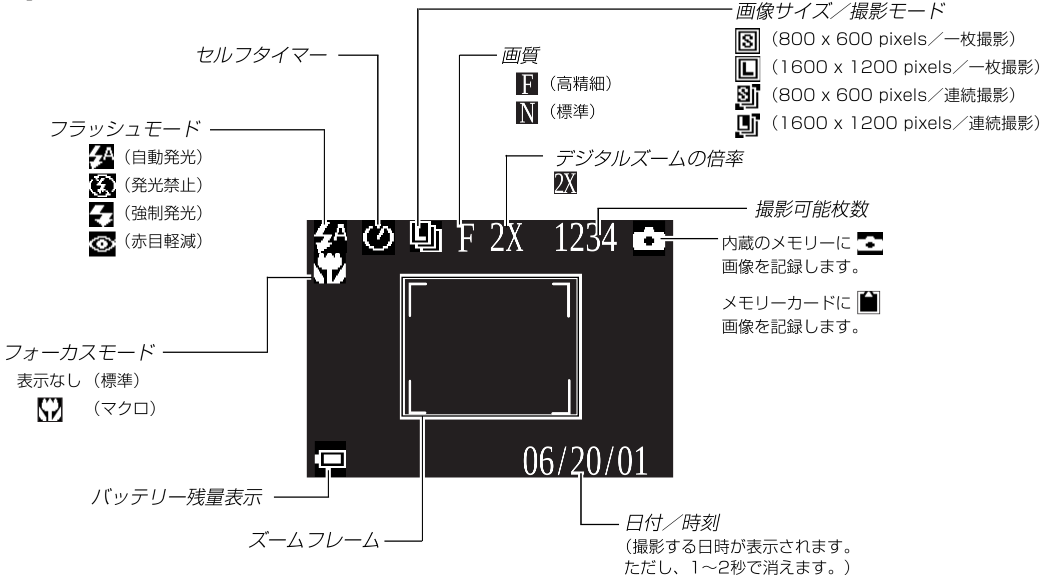


【電池ブタ】
21ページ

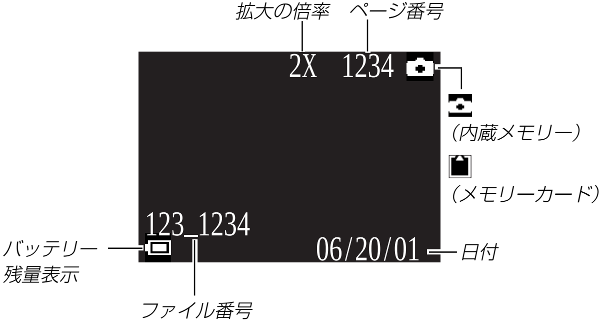
液晶モニターの表示内容

【液晶モニター】にさまざまな情報が表示されます。

撮影モード時



再生モード時

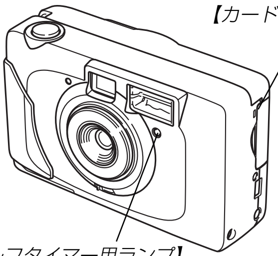


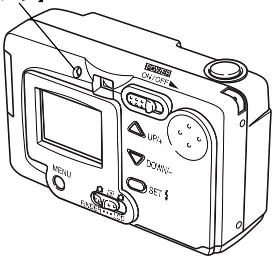
"画面表示"(54ページ)が"オフ"の場合は表示されません。

重要! ● 本機以外で撮影された画像に対しては正常に表示されない場合があります。

ランプについて

本機には【動作確認用ランプ】【カードアクセスランプ】【セルフタイマー 用ランプ】があります。点灯や点滅、色によってカメラの動作の状況を知らせます。詳しい内容については「ランプの状態と動作内容」(66ページ)をご覧ください。

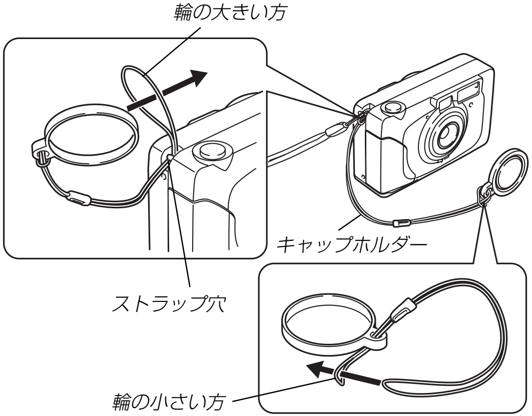




付属品の使いかた

レンズキャップの取り付けかた

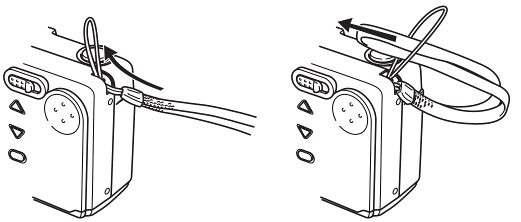
本機をご使用にならないときは、必ずレンズキャップを取り付けてください。



- レンズキャップをキャップホルダーでストラップ穴につなぎ止めることで紛失防止ができます。

ストラップの取り付けかた

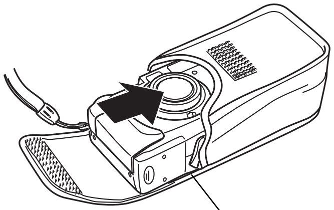
ストラップは、図のようにストラップ穴に取り付けます。



重要!
- 本機操作時は落下を防止するため、必ずストラップに手を通した状態で使用してください。
- 付属のストラップは本機専用です。他の用途に使用しないでください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。

ソフトケースの使いかた

ご使用にならないときは、本機を付属のソフトケースに入れて保管してください。



液晶画面を下にする

重要! • ソフトケースには本機以外は入れないでください。

電源について

本機は下記のいずれかの電源が利用できます。

- 電池
  単3形アルカリ電池LR6：4本
  単3形リチウム電池FR6：4本
  単3形ニッケル水素蓄電池NP-H3：4本

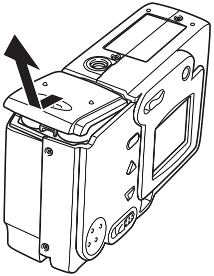
重要! • マンガン電池は使用できません。必ず単3形の指定電池をご使用ください。

- 家庭用電源
  ACアダプター：AD-C630J
  ACアダプターチャージャー：BC-3HA

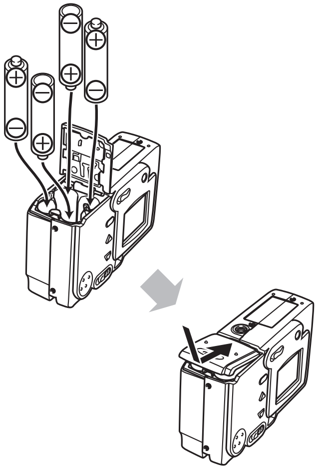
電池を使う

電池交換は、電源を切った状態で行ってください。

1. 本体底面の【電池ブタ】を矢印の方向にスライドさせて開きます。



2. 電池を図のようにセットした後、【電池ブタ】を矢印の方向へ押しつけながら、スライドして閉めます。



■充電式電池のご利用について

充電式電池は、別売のニッケル水素蓄電池(NP-H3)をお使いください。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。

ACアダプターチャージャー	：BC-3HA
ニッケル水素蓄電池／急速充電器セット	：BC-1HB4
ニッケル水素蓄電池(4本セット)	：NP-H3P4

重要!
- 電池は、必ず同じ製品を4本セットでご使用ください。違う種類の電池や、充電状態の異なる電池を組み合わせてご使用になると、電池寿命を短くしたり、カメラの故障の原因となります。
- 本機では充電できません。

■電池使用時の注意事項


禁　止

- ●電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災、けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 極性(⊕と⊖の向き)に注意して正しく入れてください。
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
  - 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。
- ●電池は、充電(充電池使用時を除く)や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。
- ●使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。

- 2週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。
- 電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。

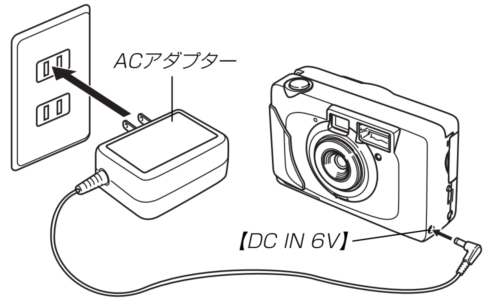
■バッテリー残量表示

電池が消耗すると【液晶モニター】に表示されているバッテリー残量表示が下記表のように変化します。“”の状態で使用し続けると、自動的に電源が切れます。速やかにすべて新しい電池と交換してください。

電池残量	多 ←――――――――――→ 少
画面情報表示	 →  → 

家庭用電源を使う

家庭用電源から電源を取るには次のアダプターをご使用ください。



- ACアダプター：AD-C630J(別売)

※ ACアダプターは米国などAC100～120Vの電源地域への旅行の際は、そのままご使用になれます。

- ACアダプターチャージャー：BC-3HA(別売)

※ ACアダプターチャージャーはACアダプターの機能と、単3形ニッケル水素蓄電池の充電機能を備えています。また、単3形ニッケル水素蓄電池が4本同梱されています。

※ ACアダプターチャージャーはAC100～240Vの電源に対応しており、海外への旅行の際もご利用になれます。海外でのご使用では、各地域に合った市販の電源コードをお買い求めください。

■ACアダプター使用時の注意

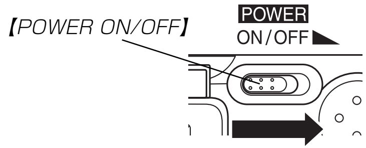
禁　止

- ●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります（ACアダプターは別売本機専用をご使用ください）。
- ●ACアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・事故・感電の原因となります。
- ●ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- ●濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ●タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- ●万一、ACアダプターの電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターを抜き差しする際は、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをするのはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行うと製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となります。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターのプラグを差し込むと、電池よりもACアダプターが優先されます。
- パソコンと接続する際は、ACアダプターをお使いください。

電源を入れる／切る

電源の入／切は【POWER ON/OFF】で行います。
【POWER ON/OFF】を“◣”方向へスライドさせるごとに、電源の入／切が替わります。電源が入ると【動作確認用ランプ】が点灯します。



電池の消耗をおさえるための機能

電池の消耗をおさえるために、以下の機能があります。

オートパワーオフ：5分間操作しないと電源が切れます。

スリープ：2分間操作をしないと、【液晶モニター】のみ消灯します。ボタン操作をすると【液晶モニター】が再度点灯します。

- 以下の状態では、オートパワーオフは働きません。
  - スライドショー中
  - 本機のUSB接続端子を通じて本機を外部のパソコンなどと接続しており、外部機器で本機を操作しているとき
  - ACアダプターを接続しているとき

日時の設定

お買い上げ後初めて撮影をする前に、日時を設定してください。この日時は、ファイル名やファイル情報などに利用されます。

重要!
- 電池や、ACアダプターで電源が供給されないと、約12時間で日時がリセットされます。
- 日時がリセットされている場合は、電源を入れると、最初に日時設定画面が表示されます。
- 日時設定を行なわないと、間違った時間データによって記録されてしまいます。必ず設定してください。

日付と時刻を設定する

1. **電源を入れ、【モードスイッチ】を“📷 LCD”または“▶”に合わせます。**

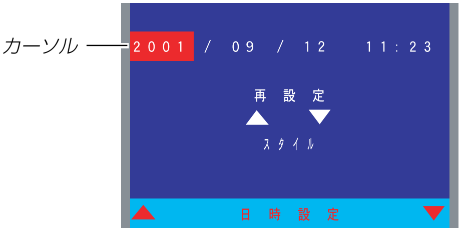
2. **【MENU】を押します。**

3. **【▲】または【▼】で“設定(基本)”または“設定”を選び、【SET ϟ】を押します。**

4. **【▲】または【▼】で“設定(基本)”を選び、【SET ϟ】を押します。**
- 手順1で“▶”に合わせた場合は手順5へ進んでください。

5. **【▲】または【▼】で“日時設定”を選び、【SET ϟ】を押します。**

6. **設定項目を選び、日時を合わせます。**



【SET ϟ】.................. カーソルを移動させます。

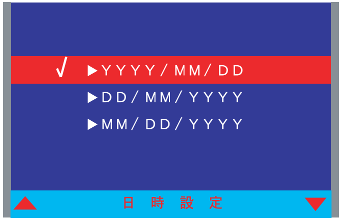
【▲】または【▼】......... カーソルの部分の数字などを変えます。

再設定　：設定項目をさかのぼります。

スタイル：表示形式を選び設定を終了します。

7. 【▲】または【▼】で“スタイル”を選び、【SET ⚡】を押します。

8. 【▲】または【▼】で設定を選び、【SET ⚡】を押して設定し終了します。



例）2001年10月18日

YYYY/MM/DD ：2001/10/18
DD/MM/YYYY ：18/10/2001
MM/DD/YYYY ：10/18/2001

撮影する

ここでは最も基本的な撮影方法や基本的な設定について説明します。

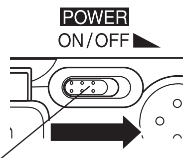
基本的な撮影

本機では被写体の明るさに応じてカメラがシャッター速度と絞り数値を自動的に調整します。撮影された画像は、順次内蔵のフラッシュメモリー、または市販のメモリーカード(SDメモリーカードまたはマルチメディアカード)に保存されます。

1. **電源を入れる前にレンズキャップをはずします。**

2. **【POWER ON/OFF】をスライドさせて電源を入れます。**

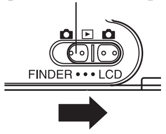
【液晶モニター】に画像またはメッセージが表示されます。



【POWER ON/OFF】

3. **【モードスイッチ】を"カメラ LCD"に合わせます。**

【モードスイッチ】

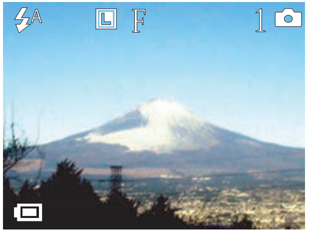


カメラ FINDER ：【液晶モニター】の表示は消えますが、撮影モードになり、撮影できる状態になります。【ファインダー】を使用して撮影してください。

再生 ：再生モードになり、再生できる状態になります。

カメラ LCD ：撮影モードになり、撮影できる状態になります。

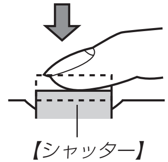
4. **【液晶モニター】に被写体を合わせます。**

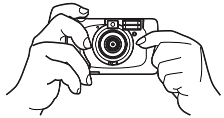


- 撮影できる範囲は約80cm～∞です。
- 【ファインダー】から被写体を見て撮影することもできます。(33ページ)
- 【ファインダー】から被写体を見るときは【モードスイッチ】を"カメラ FINDER"に合わせて【液晶モニター】を消すことで、電力の消費を減らすことができます。

5. **【シャッター】を半押しし、露出を固定(AEロック)します。**

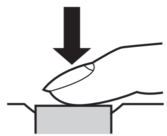
- レンズや各センサーを指でふさがないでください。
- AEロックされると、すべてのアイコンが緑色になります。被写体が暗すぎる場合や、明るすぎる場合は赤色になります。





6. **【シャッター】を全押しします。**

- 撮影されます。



- 画質によって保存できる枚数が異なります。(36ページ)
- 手ぶれを起さないために、【シャッター】は静かに押してください。
- 暗くてシャッター速度が遅いときや、ズームで撮影するときは、手ぶれ防止のため、三脚の使用をおすすめします。

撮影時の画面のご注意

- 撮影時、【液晶モニター】に表示される被写体の映像は、フレーム確認のための簡易画像です。
  撮影した内容は、選択した画質で記録されており、出力画素数は確保されています。メモリーには精細な画像で記録されています。
- 被写体の明るさにより、撮影時の【液晶モニター】の表示速度が遅くなったり、ノイズが出る場合があります。

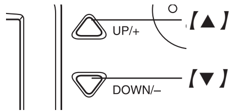
撮影時のご注意

- 【動作確認用ランプ】が緑色に点滅している間に【電池ブタ】を開けることは、絶対におやめください。今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されるおそれがあります。
- 内蔵のフラッシュメモリー、メモリーカードに記録中は、電池・ACアダプター、およびメモリーカードを抜かないでください。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。

ズームについて

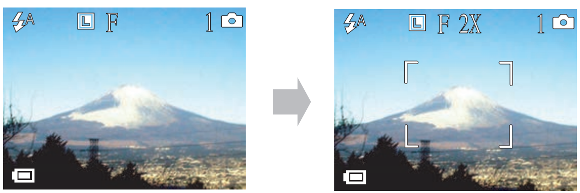
本機のズームはデジタルズームを採用しています。
デジタルズームは画面の中央を拡大して記録します。ズームの倍率は次の通りです。

倍率：2倍



重要! ● デジタルズームは画像サイズを“L 1600×1200”に設定したとき(36ページ)のみ有効になり、“S 800×600”のサイズで記録されます。“S 800×600”に設定した場合は働きません。

1. 撮影中に【▲】または【▼】で倍率を切り替えます。

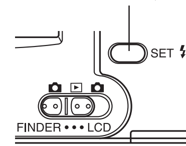


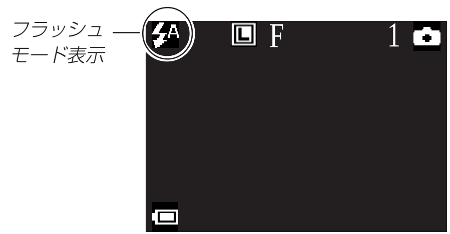
【▲】：2倍になります。
【▼】：1倍になります。
- 2倍時は画面上にズームフレームが表示され、その部分のみが記録されます。

フラッシュについて

撮影条件に合わせてフラッシュをさまざまに調整することができます。

1. 撮影中に【SET ⚡】を押してフラッシュモードを選びます。





- 【SET ⚡】を押すたびに【液晶モニター】に次の順でフラッシュの発光方法が表示され切り替わります。

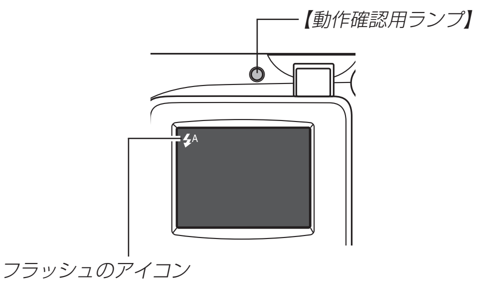
⚡A(自動発光) → (発光禁止) → ⚡(強制発光) → (赤目軽減)

- （自動発光）： 露出に合わせて自動的に発光します。
- （発光禁止）： 露出に関係なく発光しません。
- （強制発光）： 露出に関係なく強制的に発光します。
- （赤目軽減）： プリ発光してから再度発光することで、フラッシュ撮影時に人の目が赤く写ることを軽減します。

フラッシュの状態について

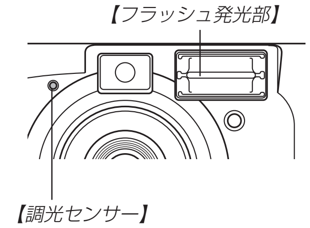
フラッシュが撮影時に発光するかどうかは【シャッター】を半押ししたときに【動作確認用ランプ】で確認できます。

オレンジ色／点灯 ：発光
上記以外 ：発光しない



フラッシュ使用時のご注意

- 【フラッシュ発光部】や【調光センサー】が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうとフラッシュ本来の効果が得られなくなります。



- フラッシュの充電時間は、そのときの使用条件（電池の種類、状態や温度等）により異なります。

  数秒～10秒程度（使用初期の電池の場合）

- 電池が消耗するとフラッシュの充電ができなくなることがあります。このときフラッシュのアイコンが赤くなり、フラッシュが正常に発光せずに適正な露出が得られないことを示します。速やかに新しい電池と交換してください。

- “ ”（赤目軽減モード）で被写体がカメラの方に視線を向けていない場合や被写体までの距離が遠い場合には赤目軽減効果が得られないことがあります。
- “ ”（赤目軽減モード）では露出に合わせて自動的に発光するため、明るい場所でのフラッシュ発光はしません。
- フラッシュを使用した場合は、ホワイトバランスが固定されるため、外光や蛍光灯など他の光源があると色味が変わることがあります。

近くの物を撮影する

本機は、撮影したい被写体までの距離に応じて、標準／マクロ（接写）の切り替えができます。

	焦点距離	位置
標準	約80cm〜∞	
マクロ（接写）	約20cm	

- 焦点距離はレンズ前面から被写体までの距離です。

近くの物を撮影する場合は【標準/マクロ切替スイッチ】を“ ”に合わせます。

【標準/マクロ切替スイッチ】



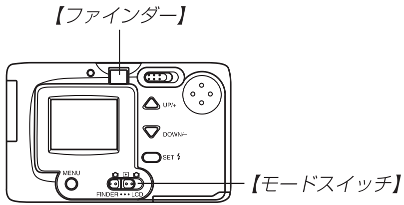
- マクロのときは【液晶モニター】に“ ”が表示されます。



- マクロ（接写）撮影時に【モードスイッチ】（33ページ）を“ FINDER”に合わせると、【液晶モニター】に「 LCDにしてください　モード変更！」と表示されます。マクロ（接写）撮影するときは、【モードスイッチ】を“ LCD”に合わせ、【液晶モニター】を見ながら撮影してください。
- 通常は【標準/マクロ切替スイッチ】を“ ”に合わせておいてください。
- マクロでは、フラッシュは“ ”（発光禁止）と“ ”（強制発光）しか指定できません。最初は自動的に“ ”（発光禁止）になります。

ファインダーを使用した撮影

【ファインダー】を覗きながら撮影する場合は、以下のことに注意しながら撮影してください。



撮影範囲フレームは約3m離れた被写体を撮影した場合の範囲です。被写体の距離が近かったり遠かったりする場合、実際に写る範囲が異なります。

- 【モードスイッチ】を“ FINDER”に合わせることで、【液晶モニター】をオフにすることができます。
- 【モードスイッチ】を“ FINDER”に合わせているときに、【MENU】を押すと情報表示(18ページ)が表示されます。
- 【モードスイッチ】を“ FINDER”に合わせているときは、フラッシュ以外の設定を変えることはできません。

連続撮影する(連写モード)

【シャッター】を押し続けることで、最大5枚の連続撮影ができます。

1. **【モードスイッチ】を“ LCD”に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【▲】または【▼】で“ドライブモード”を選び、【SET ⚡】を押します。**

4. **【▲】または【▼】で“連写”を選び、【SET ⚡】を押します。**

連写 ：連続撮影ができます。

一枚 ：一枚ずつの撮影ができます。

5. **【MENU】を押します。**



6.【シャッター】を押して続けて撮影します。

重要!
- 連続撮影では、フラッシュは発光しません。
- 連続撮影では、セルフタイマーは使用できません。
- シャッター速度が遅くなると、撮影間隔も遅くなる場合があります。
- バッテリー残量表示が“ ”になった状態で連続撮影できません。自動的に一枚撮影に切り替わります。
- メモリーに記録中は、電池・ACアダプターを抜かないでください。

連続撮影の枚数を変える

1度に撮影できる最大枚数を、2〜5枚の間で変更することができます。ただし、撮影する画像によっては、5枚の連続撮影ができないことがあります。

1.【モードスイッチ】を“ LCD”に合わせます。

2.【MENU】を押します。

3.【▲】または【▼】で“設定”を選び、【SET ϟ】を押します。

4.【▲】または【▼】で“連写枚数”を選び、【SET ϟ】を押します。

5.【▲】または【▼】で枚数を選び、【SET ϟ】を押します。

6.【MENU】を押します。

セルフタイマーを使う（セルフタイマーモード）

セルフタイマーは2通りの時間が設定できます。

1. 【モードスイッチ】を"📷 LCD"に合わせます。

2. 【MENU】を押します。

3. 【▲】または【▼】で"セルフタイマー"を選び、【SET ϟ】を押します。

4. 【▲】または【▼】で時間を選び、【SET ϟ】を押します。

OFF ：セルフタイマーは使用できません。

2秒 ：2秒後に撮影されます。

10秒：10秒後に撮影されます。

5. 【MENU】を押します。

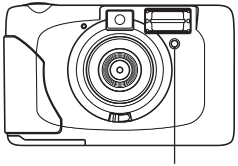
セルフタイマーアイコン



- 【液晶モニター】に"⏱"が表示され、セルフタイマーが使用できるようになります。

6. 【シャッター】を押して撮影します。

- 【セルフタイマー用ランプ】が点滅し、セルフタイマーのカウントダウンが始まります。
- カウントダウン表示中に【シャッター】を押すと、セルフタイマーを解除することができます。



【セルフタイマー用ランプ】

- セルフタイマーは1回の撮影ごとにOFFになります。

画像のサイズと画質を変える

本機は、撮影する内容に応じて、画像のサイズと画質の切り替えができます。

サイズを変更する

1. 【モードスイッチ】を“ LCD”に合わせます。

2. 【MENU】を押します。

3. 【▲】または【▼】で“サイズ”を選び、【SET ϟ】を押します。

4. 【▲】または【▼】で設定内容を選び、【SET ϟ】を押します。

L 1600×1200 ：1600×1200 pixelsで記録します。
S 800×600 ：800×600 pixelsで記録します。

5. 【MENU】を押します。

画質を変更する

1. 【モードスイッチ】を“ LCD”に合わせます。

2. 【MENU】を押します。

3. 【▲】または【▼】で“画質”を選び、【SET ϟ】を押します。

4. 【▲】または【▼】で設定内容を選び、【SET ϟ】を押します。

高精細 ：圧縮比を低めにします。
標準 ：標準的な圧縮比にします。

5. 【MENU】を押します。

重要!
- 撮影した画像によってファイルサイズが異なるため、記録枚数は変化します。
- 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。
- 1つのフォルダーに保存される画像数に制限(最大9,999枚)があるため、上記の撮影可能枚数と画面上の表示枚数が一致しない場合があります。

露出を補正する

本機は、撮影時の明るさに応じて、露出値(EV値)を下記の範囲で手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影などに利用すると、より良好な画像が得られます。

露出補正値 ： −2EV 〜 +2EV
補正単位 ： 1/3EV

1. 【モードスイッチ】を"📷 LCD"に合わせます。

2. 【MENU】を押します。

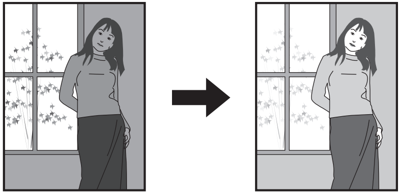
3. 【▲】または【▼】で"露出補正"を選び、【SET ϟ】を押します。



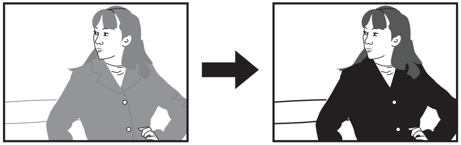
4.【▲】または【▼】で露出補正(EVシフト)を行い、【SET ϟ】を押します。

- これで露出補正値が記録されました。

【▲】: +方向に補正されます。白い物の撮影や逆光での撮影のときに押します。



【▼】: −方向に補正されます。黒い物の撮影や晴天の野外などのときに押します。



- 露出補正値をリセットする場合は、反対方向に露出補正し、"自動"に合わせてください。

5.【MENU】を押します。

重要!
- 明るすぎたり、暗すぎたりする場合は、露出補正ができない場合があります。
- 一回の撮影ごとに露出補正は自動に戻ります。

ホワイトバランスを変える

ホワイトバランスとは、被写体を自然な色合いで撮影できるように白を基準に調整することです。

1. 【モードスイッチ】を“ LCD”に合わせます。
2. 【MENU】を押します。
3. 【▲】または【▼】で“ホワイトバランス”を選び、【SET 】を押します。
4. 【▲】または【▼】で設定内容を選び、【SET 】を押します。

   自動　　　：自動的にホワイトバランスを調整します。
   (太陽光)：屋外での撮影時
   (日陰)　：日陰で青みがかる時
   (電球)　：電球下で赤みがかる時
   (蛍光灯)：蛍光灯下で緑がかる時
5. 【MENU】を押します。

撮った画像を確認する

撮影をしたすぐ後に【液晶モニター】で撮影画像を確認することができます。

1. 【モードスイッチ】を“ LCD”に合わせます。
2. 【MENU】を押します。
3. 【▲】または【▼】で“設定”を選び、【SET 】を押します。
4. 【▲】または【▼】で“撮影レビュー”を選び、【SET 】を押します。
5. 【▲】または【▼】で設定項目を選び、【SET 】を押します。

   オン ：撮影をしたすぐ後に【液晶モニター】で撮影画像が約2秒間表示されます。
   オフ ：撮影画像は表示されません。
6. 【MENU】を押します。

メモリーカードについて

本機は撮影画像の記録用として内蔵のフラッシュメモリー(16MB)を使用しています。また、別売のメモリーカード(SDメモリーカード)を使用することで記録用のメモリーを拡張することができます。内蔵のフラッシュメモリーからメモリーカードへのコピーもできます。
画像が記録されるメモリーは自動的に切り替わります。

- メモリーカードを差していないとき → 内蔵メモリーに記録されます。
- メモリーカードを差しているとき → メモリーカードに記録されます。

メモリーカードを差した状態で内蔵メモリーを使用することはできません。

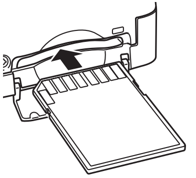
重要!
- メモリーカードの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
- カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。
- MMC(マルチメディアカード)はSDメモリーカードと互換性があり、使用できますが、SDメモリーカードと比較すると著しく処理速度が遅くなります。なるべくSDメモリーカードをご使用ください。
- SDメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤って消去する不安があるときは使用してください。ただし、撮影、フォーマット、消去時は解除しないと各操作が実行できません。

メモリーカードを入れる

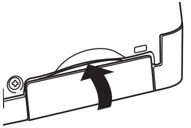
1. 【メモリーカードカバー】を開きます。



2. メモリーカードの接点部のある方を本機の上部側に向け、しっかり押し込みます。



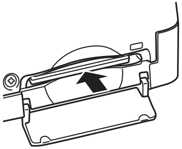
3. 【メモリーカードカバー】を閉めます。



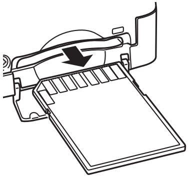
メモリーカードを取り出す

1. 【メモリーカードカバー】を開きます。

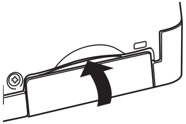
2. メモリーカードを押すと、メモリーカードが少し出てきます。



3. メモリーカードを引き抜きます。



4. 【メモリーカードカバー】を閉めます。



重要!
- 故障の原因となりますので、メモリーカード挿入部にはメモリーカード以外のものを入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、電池・ACアダプターを抜いて、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。
- 【カードアクセスランプ】が点滅している間にメモリーカードを取り出さないでください。撮影された画像がメモリーカードに記録されなかったり、メモリーカードを破壊する場合があります。

メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容がすべて消去されます。

重要!
- メモリーカードは必ずカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットすると処理速度が著しく遅くなります。またＳＤメモリーカードの場合、ＳＤ規格非準拠となり、互換性・性能等で問題が生じる場合があります。
- 一度メモリーカードをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマットしてもよいかをよく確かめてから行ってください。
- 画像データにメモリープロテクト(49ページ)をかけていても、メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。

1. **電源を入れ【モードスイッチ】を“📷 LCD”または“▶”に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【▲】または【▼】で“フォーマット”を選び、【SET ⚡】を押します。**

4. **【▲】または【▼】で“はい”を選び、【SET ⚡】を押します。**

はい　：フォーマットを実行します。
いいえ：フォーマットを実行しません。

メモリーカードのご注意

■メモリーカードについて

- メモリーカードは必ずSDメモリーカードまたはマルチメディアカードを使用してください。他のメモリーカードをお使いの場合は動作保障できません。
- 静電気、電気的ノイズ等により記録したデータが消滅または破壊する事がありますので、大切なデータは別のメディア(MOディスク、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。
- 万が一メモリーカードの異常が発生した場合は、メモリーカードのフォーマットの操作で復帰できますが、外出先などでこの操作を行えない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちすることをおすすめします。
- 異常と思われる画像を撮影したり、新たにメモリーカードをご購入された場合は、一度フォーマット(初期化)してお使いいただくことをおすすめいたします。
- フォーマットの操作を行うときは、ACアダプターを使用するか、新品のアルカリ電池またはリチウム電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行われず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

メモリーカードに画像をコピーする

内蔵フラッシュメモリー内の全ての画像を、メモリーカードへコピーすることができます。

1. 本機にメモリーカードをセットします。

2. 【モードスイッチ】を“▶”に合わせます。

3. 【MENU】を押します。

4. 【▲】または【▼】で“カードへコピー”を選び、【SET ϟ】を押します。



- メモリーカードへのコピーがはじまります。
- コピーが終わると“コピー完了”と表示され、メニュー画面に切り替わります。

5. 【MENU】を押します。

重要! • メモリーカード から内蔵フラッシュメモリーへのコピーはできません。

再生する

本機は【液晶モニター】を備えているので、記録されている内容を本機だけで確認することができます。

基本的な再生のしかた

記録されている画像を順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

1. **【モードスイッチ】を“▶”に合わせます。**

- 再生モードになり、再生できる状態になります。

2. **【▲】または【▼】で画像を見ていきます。**


【▲】→ ←【▼】

【▲】→ ←【▼】


【▲】：進みます。
【▼】：戻ります。

画像を拡大して表示する

撮影した画像を拡大して表示させることができます。

1. **再生モードにします。**

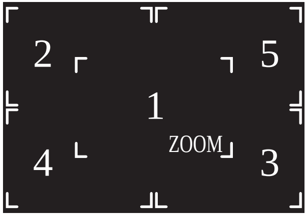
2. **【▲】または【▼】で拡大したい画像を表示させます。**

3. **【MENU】を押します。**

4. **【▲】または【▼】で“拡大再生”を選び、【SET ⚡】を押します。**

5. **【▲】または【▼】で拡大したい箇所を移動します。**

- 【▼】を押すたびに下記の順で移動します。【▲】では逆になります。
- 拡大を中止したい場合は“キャンセル”を表示させて、【SET ⚡】を押します。



6. **【SET ⚡】を押して拡大します。**

7. **解除する場合は【▲】または【▼】で次の画像を選ぶか、【SET ⚡】または【MENU】を押します。**

画像を自動的にページめくりさせる(スライドショー)

撮影した内容を自動的に次々とページめくりさせる機能(スライドショー)です。


→

→


1. **再生モードにします。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【▲】または【▼】で"スライドショー"を選び、【SET ϟ】を押します。**

- スライドショーが始まります。

4. **【MENU】、【▲】、【▼】、【SET ϟ】を押すとスライドショーが終了します。**

重要!

- スライドショー中は、本機のオートパワーオフ機能(操作を行なわないと自動的に電源が切れる機能)が働きません。このため電池で本機を使用しているときにスライドショーをしたまま放置してしまうと、確実に電池が消耗します。スライドショーを行なった後は、必ずスライドショーを終了して電源を切るようにしてください。
- 画面の切り替わり中はボタン操作が効かなくなります。画面が静止している時にボタン操作をしてください。ボタンが効かない場合はしばらくボタンを押し続けてください。
- パソコンからコピーした画像や、他のデジタルカメラの画像では、設定した間隔より長くなる場合があります。

消去する

画像を消去する方法には次の2つの方法があります。

選択　：画像を1画像ずつ消去する。
全画像：すべての画像を消去する。

重要!
- 一度消去してしまった撮影内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行う際は、本当に不要な画面かどうかをよく確かめてから行ってください。特に、全画像消去の操作では、撮影したすべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- すべての画像がメモリープロテクトされている状態では、実行できません。
- メモリープロテクトのかかった画像は消去できません。メモリープロテクトの解除（49ページ）を行ってから操作してください。

選択して消去する

画像を1画像ずつ消去することができます。

1. 再生モードにします。

2. 【MENU】を押します。

3. 【▲】または【▼】で"消去"を選び、【SET ϟ】を押します。

4. 【▲】または【▼】で"選択"を選び、【SET ϟ】を押します。

5. 【▲】または【▼】で"次画像"または"前画像"を選び、【SET ϟ】を押して消したい画像を表示させせます。



次画像：次の画面に移ります。
前画像：前の画面に移ります。

6. 【▲】または【▼】で"消去"を選び、【SET ϟ】を押します。

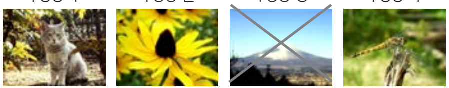
7. 【▲】または【▼】で"はい"を選び、【SET ϟ】を押して消去します。

- "キャンセル"を選ぶと消去を中止できます。

8. 消去を終了するには【MENU】を押すか、“終了”を選び【SET ϟ】を押します。

参考 ● 1画像ずつ削除を行うごとに、ページの空きができないように自動的にページ詰めが行われます。ただし、ファイル名は詰められません。

ページ 1 2 3 4
ファイル名 100-1 100-2 100-3 100-4



↓

ページ 1 2 3
ファイル名 100-1 100-2 100-4



全画像を消去する

すべての画像を消去することができます。

1. 再生モードにします。

2. 【MENU】を押します。

3. 【▲】または【▼】で“消去”を選び、【SET ϟ】を押します。

4. 【▲】または【▼】で“全画像”を選び、【SET ϟ】を押します。

5. 「選択して消去する」(46, 47ページ)の手順6〜8と同じ操作をして消去します。

画像の管理について

本機では画像の撮影や再生の他、画像プリント時の枚数指定等や画像の消去防止の設定ができます。

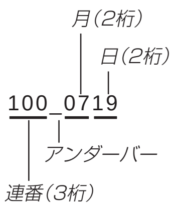
フォルダの分類について

本機は内蔵フラッシュメモリーやメモリーカード内に、フォルダ(ディレクトリ)を自動的に作成します。

メモリー内のフォルダについて

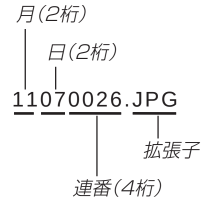
撮影した画像は月日を名前としたフォルダの中に自動的に記録されます。フォルダは最大900作成されます。フォルダ名は次の通りです。

例：100(連番)、7月19日撮影



各フォルダには最大9,999個の画像ファイルが登録でき、10,000枚以上撮影した場合は、次の連番のフォルダが自動的に作成されます。画像のファイル名は次の通りです。

例：11月7日の26番目に撮影した画像



- メモリー内に保存できるフォルダ数、ファイル数はメモリーカードの容量や画質によって異なります。
- メモリー内の詳しいディレクトリ構造に関しては「メモリーカード内のディレクトリ構造」(62ページ)をご覧ください。

撮影した画像の消去防止をする(メモリープロテクト)

大事な画像を誤って消去してしまうことを防止する機能(メモリープロテクト)がついています。メモリープロテクトされた画像は、消去の操作(46ページ)をしても消えることはありません。メモリープロテクトのかけかたには、1画像単位、全画像の2通りがあります。

選択して消去防止する

1. 再生モードにします。

2. 【MENU】を押します。

3. 【▲】または【▼】で“プロテクト”を選び、【SET ϟ】を押します。

4. 【▲】または【▼】で“選択”を選び、【SET ϟ】を押します。

5. 【▲】または【▼】で“次画像”または“前画像”を選び、【SET ϟ】を押してメモリープロテクトしたい画像を表示させます。



次画像:次の画面に移ります。
前画像:前の画面に移ります。

6. 【▲】または【▼】で“オン”を選び、【SET ϟ】を押します。



- “ ”が画像の上に表示され、メモリープロテクトされます。
- メモリープロテクトを解除するには“オフ”を選び、“ ”を消します。

7. メモリープロテクトを終了するには【MENU】を押します。

全画像を消去防止する

1. 再生モードにします。

2. 【MENU】を押します。

3. 【▲】または【▼】で“プロテクト”を選び、【SET ϟ】を押します。

4. 【▲】または【▼】で“全画像”を選び、【SET ϟ】を押します。

5. メモリープロテクトの設定を選び、【SET ϟ】を押します。
オン：すべての画像をメモリープロテクトします。
オフ：すべての画像のメモリープロテクトを解除します。

6. メモリープロテクトを終了するには【MENU】を押すか、“終了”を選び【SET ϟ】を押します。

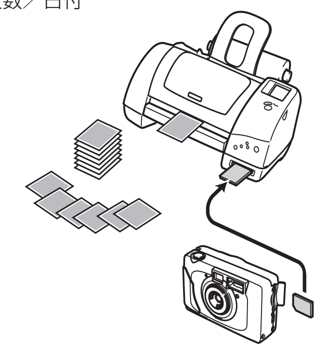
DPOF機能について

DPOF(Digital Print Order Format)とはデジタルカメラで撮影した中からプリントしたい画像や枚数などの設定情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。メモリーカードを通じてDPOF対応の家庭用プリンターやサービスラボでプリントすることができます。

本機では撮影された画像ファイル名などを意識することなく、【液晶モニター】で確認しながらプリントしたい画像の設定を行うことができます。

DPOF™

- 設定可能な内容
  画像／枚数／日付



選択して印刷の設定をする

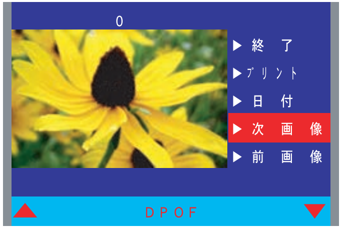
1. 再生モードにします。

2. 【MENU】を押します。

3. 【▲】または【▼】で“DPOF”を選び、【SET ϟ】を押します。

4. 【▲】または【▼】で“選択”を選び、【SET ϟ】を押します。

5. 【▲】または【▼】で“次画像”または“前画像”を選び、【SET ϟ】を押して印刷したい画像を表示させます。



次画像：次の画像に移ります。
前画像：前の画像に移ります。

6. 【▲】または【▼】で“プリント”を選び、【SET ϟ】を押します。

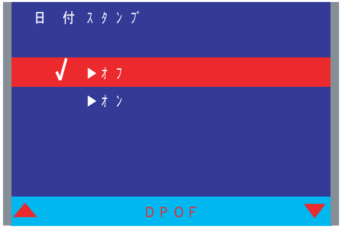
7. 【▲】または【▼】で印刷する枚数を決めて【SET ϟ】を押します。



- 枚数の指定は1～99枚までです。印刷したくない場合は0にしてください。

8. 【▲】または【▼】で“日付”を選び、【SET ϟ】を押します。

9. 【▲】または【▼】で日付スタンプの設定を選び、【SET ⚡】を押します。



オン：日付スタンプを印刷します。
オフ：日付スタンプを印刷しません。

10. 印刷の設定を終了するには【MENU】を押すか、“終了”を選び【SET ⚡】を押します。

全画像に印刷の設定をする

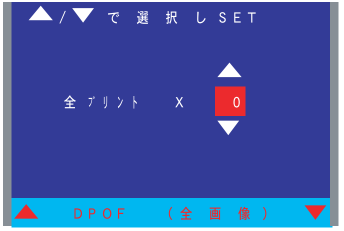
1. 再生モードにします。

2. 【MENU】を押します。

3. 【▲】または【▼】で“DPOF”を選び、【SET ⚡】を押します。

4. 【▲】または【▼】で“全画像”を選び、【SET ⚡】を押します。

5. 【▲】または【▼】で印刷する枚数を決めて【SET ⚡】を押します。



- 枚数の指定は1～99枚までです。印刷したくない場合は0にしてください。
- 枚数を0にするとメニュー画面に戻ります。

6. **【▲】または【▼】で日付スタンプの設定を選び、【SET ϟ】を押します。**

オン：日付スタンプを印刷します。

オフ：日付スタンプを印刷しません。

7. **印刷の設定を終了するには【MENU】を押すか、“終了”を選び【SET ϟ】を押します。**

注意!
- DPOFでの印刷設定は、内蔵メモリー内の画像に対しては行えません。
  一旦、コピー機能を使って画像をメモリーカードへコピーしてから、メモリーカード内の画像に対して設定してください。

PRINT Image Matchingについて

本機はPRINT Image Matchingに対応しています。PRINT Image Matching対応のプリンターを使用すれば、画像データに記録された撮影モードの情報などから、撮影意図を忠実に再現したプリントが可能になります。

PRINT Image Matching™

- PRINT Image Matchingは、「デジタルカメラの色情報に関するPrint Command、PRINT Image Matching」に従った製品であることを示しています。
- PRINT Image Matchingの仕様書Version 1.0に対する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

その他の設定について

画面表示のオンオフ

【液晶モニター】に表示される内容（18ページ）のオンオフができます。

1. **【モードスイッチ】を“📷 LCD”または“▶”に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【▲】または【▼】で“情報表示”を選び、【SET ϟ】を押します。**

4. **【▲】または【▼】で設定内容を選び、【SET ϟ】を押します。**

オン：情報表示が表示されます。

オフ：情報表示が表示されません。

5. **【MENU】を押すか、“終了”を選び【SET ϟ】を押します。**

表示言語を切り替える

画面のメッセージを2つの言語から選ぶことができます。

1. **【モードスイッチ】を“📷 LCD”または“▶”に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【▲】または【▼】で“設定”を選び、【SET ϟ】を押します。**

- 手順1で“▶”に合わせた場合は手順4に進みます。

4. **【▲】または【▼】で“設定（基本）”を選び、【SET ϟ】を押します。**

5. **【▲】または【▼】で“言語／LANGUAGE”を選び、【SET ϟ】を押します。**

6. **【▲】または【▼】で設定内容を選び、【SET ϟ】を押します。**

ENGLISH ：英語

日本語 ：日本語

7. **【MENU】を押すか、“終了”を選び【SET ϟ】を押します。**

操作音のオンオフ

操作音のオンオフを切り替えることができます。

1. 【モードスイッチ】を“[カメラ] LCD”または“[▶]”に合わせます。

2. 【MENU】を押します。

3. 【▲】または【▼】で“設定”を選び、【SET ϟ】を押します。
- 手順1で“[▶]”に合わせた場合は手順4に進みます。

4. 【▲】または【▼】で“設定(基本)”を選び、【SET ϟ】を押します。

5. 【▲】または【▼】で“操作音”を選び、【SET ϟ】を押します。

6. 設定内容を選び、【SET ϟ】を押します。

オン：操作音がでます。

オフ：操作音がでません。

7. 【MENU】を押すか、“終了”を選び【SET ϟ】を押します。

USBモードを切り替える

本機のUSB接続はマスストレージクラスとイメージクラスに対応しており、使用する用途により切り替えて使う必要があります。

1. 【モードスイッチ】を“[カメラ] LCD”または“[▶]”に合わせます。

2. 【MENU】を押します。

3. 【▲】または【▼】で“設定”を選び、【SET ϟ】を押します。

4. 【▲】または【▼】で“設定(基本)”を選び、【SET ϟ】を押します。

5. 【▲】または【▼】で“USBモード”を選び、【SET ϟ】を押します。

6. 【▲】または【▼】で設定項目を選び、【SET ϟ】を押します。

標準　　：デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに保存する場合に選びます（マスストレージクラス）。（59ページ）

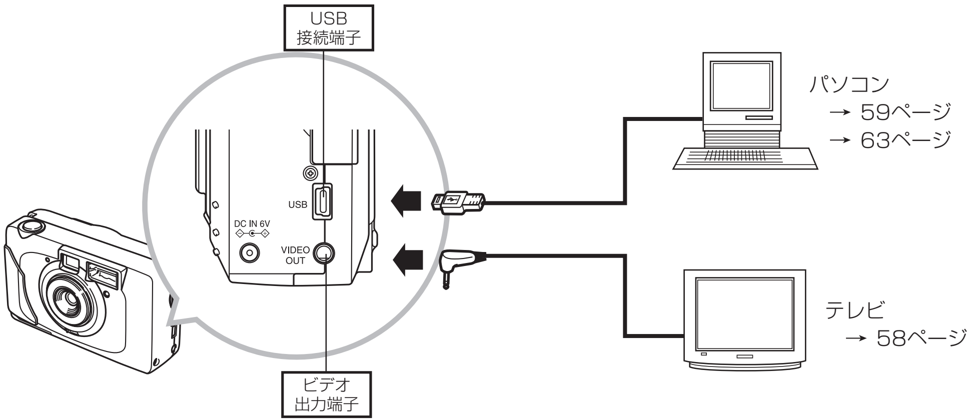
PCカメラ：ビデオ会議に使用するなど、PCカメラとして使用する場合に選びます（イメージクラス）。（63ページ）

7.【MENU】を押すか、“終了”を選び【SET ϟ】を押します。

重要!
- パソコンにUSB接続するときはACアダプターを使用してください。

他の機器との接続

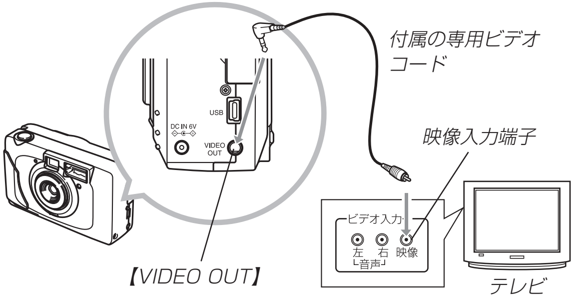
本機は、接続用の端子として【VIDEO OUT】(ビデオ出力端子)、【USB】(USB接続端子)の2つを備えています。テレビやビデオ、パソコンに接続して使用することができます。



重要!
- 接続は必ず本機と外部機器の電源を切った状態で行ってください。
- 接続する際は接続する外部機器の取扱説明書もあわせてお読みください。
- テレビやパソコンのCRTに同一の画像を表示して放置しておくことはおやめください。残像現象(画面焼け)をおこす場合があります。
- 本機ではケーブルを通じて他のカシオデジタルカメラへ画像を送ることはできません。

テレビに画像を映し出す

本機で撮影した内容や撮影中の表示をテレビの画面に映すことができます。テレビの画面に映すには、本機と映像入力端子を備えたテレビを付属の専用ビデオコードで接続します。



1. **付属の専用ビデオコードで本機とテレビを接続します。**

2. **テレビの映像入力を「ビデオ入力」に切り替えます。**

3. **以降、本機で再生や撮影の操作を行ってください。**

重要! • ビデオ出力時は【液晶モニター】がOFFになります。

ビデオ出力の方式を変更する場合

本機はビデオ出力の方式に合わせて、設定を変更することができます。ビデオ出力の方式は次の2種類です。

NTSC ：日本やアメリカなどで使用している方式です。
PAL　：ヨーロッパなどで使用している方式です。

1. **【モードスイッチ】を“📷 LCD”または“▶”に合わせます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **【▲】または【▼】で“設定”を選び【SET ϟ】を押します。**
- 手順1で“▶”に合わせた場合は手順4に進みます。

4. **【▲】または【▼】で“設定（基本）”を選び【SET ϟ】を押します。**

5. **【▲】または【▼】で“ビデオ出力”を選び【SET ϟ】を押します。**

6. **【▲】または【▼】で“NTSC”または“PAL”を選び【SET ϟ】で設定します。**

7. **【MENU】を押すか、“終了”を選択します。**

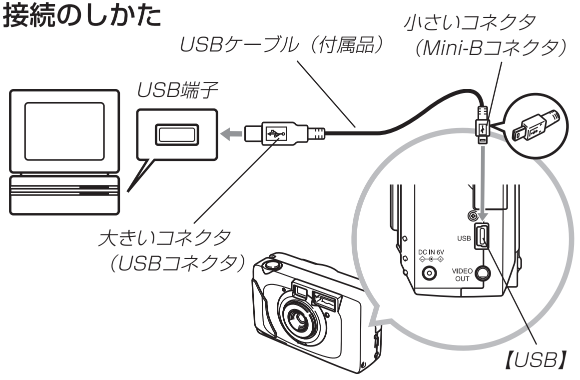
撮影画像をパソコンに取り込む

本機は付属のCD-ROMに収録の専用ソフト(Photo Loader)を使用して本機の撮影内容をデジタルデータの状態でパソコンに転送することができます。USB端子を備えたパソコンに接続することができます。また、メモリーカードを直接接続できるパソコンでも画像を活用することができます。

USB端子での接続

USB端子を備えたパソコンと本機の【USB】(USB接続端子)を接続することで簡単にパソコンへのデータ転送ができます。接続には付属のUSBケーブルが必要です。初めにUSBドライバをパソコンにインストールすれば、付属のUSBケーブルでパソコンと本機を接続するだけで、パソコン上の外部記憶装置(カードリーダー／ライター)として認識することができます。さらに専用ソフト(Photo Loader)をインストールすることで、より高度な画像の管理ができます。具体的な接続方法、USBドライバやPhoto Loaderのインストール方法、動作環境については専用ソフト取扱説明書(インストール編)をお読みください。

接続のしかた



- USBケーブルをカメラに接続するときは、本機のUSB接続端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと、正常に動作しません。
- USBケーブルからは本機に電源は供給されません。
- カメラの電源を入れてください。
- パソコンとの通信を行う際、残り少ない電池で本機を使用しますと、画像データの通信中に電源が切れる可能性があります。パソコンとの通信には専用ACアダプター(別売品)をお使いください。
- 別売のUSBケーブルQC-1Uは使用できません。

- 通信中にケーブルを抜かないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 撮影モード、再生モードのどちらでもUSBでの通信ができます。

USB接続のはずしかた

WindowsMe/98の場合

USBケーブルをデジタルカメラからはずし、カメラの電源を切ります。

Windows2000の場合

パソコン画面上のタスクトレイのカードサービスを左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、USBケーブルをデジタルカメラからはずし、カメラの電源を切ります。

Macintoshの場合

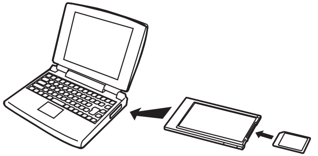
ファインダー上のカメラのドライブをゴミ箱に捨ててから、USBケーブルをデジタルカメラからはずし、カメラの電源を切ります。

- USBでの通信が終了したら、所定の手順でUSBケーブルを抜いてください。
- USBケーブルを抜いた後に本機の電源を切ってください。

メモリーカードを直接接続する

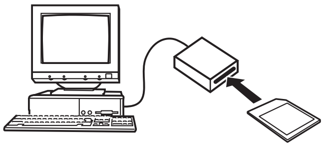
パソコンとの画像のやりとりをメモリーカードから直接行うことができます。また、付属のソフト(Photo Loader)を使用して、撮影内容をパソコンに自動的に保存することもできます。パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。

- SDメモリーカードスロットのある機種
  SDメモリーカードを直接差し込みます。
- PCカードスロットのある機種
  市販のPCカードアダプター(SDメモリーカード／MMC用)を使用します。具体的な使用方法はPCカードアダプター(SDメモリーカード／MMC用)とパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。

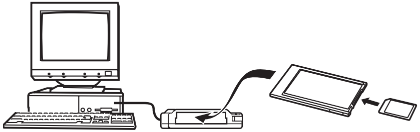


• 前記以外の機種

1）市販のSDメモリーカード用リーダー／ライターを使用します。
具体的な使用方法はSDメモリーカード用リーダー／ライターに付属の取扱説明書を参照ください。



2）市販のPCカード用リーダー／ライターと市販のPCカードアダプター（SDメモリーカード／MMC用）を使用します。
具体的な使用方法はPCカード用リーダー／ライターとPCカードアダプター（SDメモリーカード／MMC用）に付属の取扱説明書を参照ください。



メモリーカード内のデータについて

本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF（Design rule for Camera File system）規格に準拠した方法でメモリーカードへ保存されます。DCF規格とは、画像ファイルと画像に関連するファイルをデジタルカメラと関連機器の間で簡単に交換することを目的とした規格です。

DCF規格について

DCF規格対応の機器（デジタルカメラやプリンターなど）の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリーカード内のディレクトリ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンターで印刷したりすることが可能です。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。本機では画像ファイルの管理に役立てるため、画像フォルダ名と画像ファイル名に日付を使用しています（48ページ）。

メモリーカード内のディレクトリ構造

■ディレクトリ構造

```
<¥DCIM¥>                              (親フォルダ)
  ├─ 100_MMDD                         (画像フォルダ)
  │      MMDD0001.JPG                 (画像ファイル)
  │      MMDD0002.JPG                 (画像ファイル)
  │
  ├─ 101_MMDD                         (画像フォルダ)
  ├─ 102_MMDD                         (画像フォルダ)
  │      ⋮

<¥MISC¥>                              (DPOFファイルを収めたフォルダ)
  ├──── AUTPRINT.MRK                  (DPOFファイル)
  │
```

■フォルダ／ファイルの内容

- 親フォルダ
  デジタルカメラで扱うファイル全てを収めたフォルダです。
- 画像フォルダ
  デジタルカメラで撮影した画像ファイルを収めたフォルダです。
- 画像ファイル
  デジタルカメラで撮影した画像ファイルです。
- DPOFファイルを収めたフォルダ
  DPOFファイルなどを収めたフォルダです。

このデジタルカメラで扱える画像ファイル

- QV-2100で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

※ ただし、DCF規格の機能で使用できないものもあります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

パソコン上でメモリーカードを扱うときの注意点

- メモリーカードの内容をパソコンのハードディスクやMOディスクなどに保存する際は“DCIM”フォルダごと保存してください。その際“DCIM”フォルダの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーカードに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で“DCIM”に戻してからご使用ください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダは認識されません。“DCIM”フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。

- 一度パソコンのハードディスクやMOディスクなどにファイルを保存したあとのメモリーカードは、中のファイルをすべて削除するか、デジタルカメラでフォーマットしてからご使用になることをおすすめします。

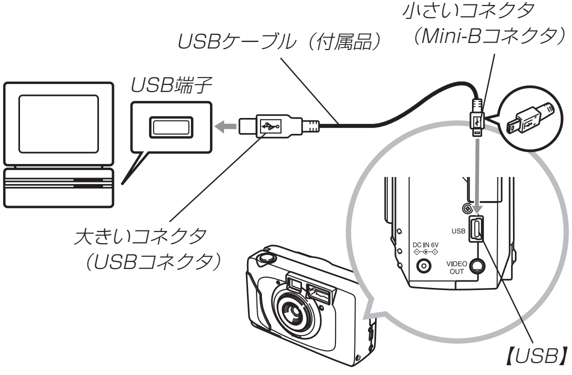
PCカメラとして使用する(PCカメラモード)

本機とパソコンを接続して、PCカメラとして使用することができます。ビデオ会議、WEBチャットなどに使用することができます。

接続のしかた

1. **パソコンと本機の電源を共に切ります。**

2. **USB端子を備えたパソコンと本機の【USB】(USB接続端子)を付属のUSBケーブルで接続します。**



3. 【POWER ON/OFF】で電源を入れます。

4. 【モードスイッチ】を“ LCD”または“ FINDER”に合わせます。
“ ”（再生モード）では、PCカメラモードになりません。

- PCカメラモードでは、電源スイッチ以外のすべてのキーが無効となります。
- 【液晶モニター】がオフ、【動作確認用ランプ】が緑色点灯します。

別途ご準備頂きたいこと

PCカメラ用として使用する場合はビデオ会議用ソフトを別途ご準備頂く必要があります。

参考例：「Microsoft NetMeeting」

本機をビデオ会議などで使用される場合は、モデムやＴＡ（ターミナルアダプタ）などのネットワーク機器、スピーカーやマイクなどを別途ご準備頂く必要があります。

PCカメラとして使用する場合のご注意

- 本機への電源はUSB接続端子を通じて、パソコンから供給されません。本機の電源を使用します。
- 画像サイズ、フレームレートの設定は、パソコンのソフト側で行ってください。
- PCカメラとして映し出された画像を静止画または動画として保存することができるかどうかは、PCカメラ用ソフトの取扱説明書でご確認ください。

パソコンとの接続について

- はじめに付属のCD-ROMに収録されているUSBドライバを、必ずインストールしてください。インストールについては別冊の「専用ソフト取扱説明書」を参照ください。
- PCカメラ用ソフトをインストールおよびセットアップした後は、59ページを参照してパソコンとの接続を行ってください。
- PCカメラとして使用する場合は、使用されるソフトの取扱説明書にそった使いかたをしてください。

重要!
- パソコンの種類によっては、使用できない場合があります。
- USBハブや拡張USBボードに接続した状態での動作は、保証できません。

付録

メニュー一覧表

撮影モード、再生モードのメニューに表示される項目の一覧表です。

- 下線の引いてある項目は工場出荷時に選択されている項目です。

撮影モード

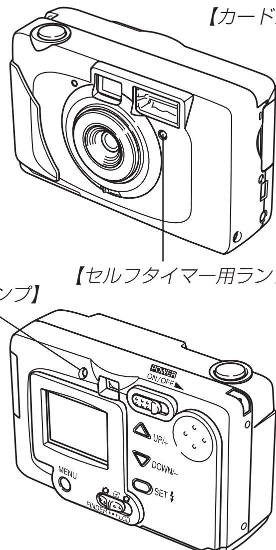
終了		
ホワイトバランス		自動／太陽光／日陰／電球／蛍光灯
露出補正		-2EV ～ +2EV
情報表示		オフ／オン
セルフタイマー		オフ／10秒／2秒
ドライブモード		一枚／連写
サイズ		1600×1200／800×600
画質		高精細／標準
フォーマット		
設定	終了	
設定	連写枚数	2～5枚（3枚）
設定	撮影レビュー	オフ／オン
設定（基本）	終了	
設定（基本）	USBモード	標準／PCカメラ
設定（基本）	操作音	オフ／オン
設定（基本）	日時設定	日時の設定
設定（基本）	ビデオ出力	NTSC/PAL
設定（基本）	言語	ENGLISH／日本語

再生モード

終了		
拡大再生		
消去		終了／選択／全画像
情報表示		オン／オフ
カードへコピー		
プロテクト		終了／選択／全画像
スライドショー		
DPOF		終了／選択／全画像
フォーマット		
設定（基本）	終了	
設定（基本）	USBモード	標準／PCカメラ
設定（基本）	操作音	オフ／オン
設定（基本）	日時設定	日時の設定
設定（基本）	ビデオ出力	NTSC/PAL
設定（基本）	言語	ENGLISH／日本語

ランプの状態と動作内容

本機には【動作確認用ランプ】【カードアクセスランプ】【セルフタイマー用ランプ】があります。
カメラの動作内容によって、点灯したり、点滅したりします。



ランプの点滅の間隔は下記の3種類です。数値は1秒間に点滅する回数です。

点滅1：1回／点滅2：2回／点滅3：5回
遅い ←――――――――――→ 速い

撮影モード

【カードアクセスランプ】はメモリーカードが入っているときのみ点灯、点滅します。

動作確認用ランプ		カードアクセスランプ		セルフタイマー用ランプ		内容
色	状態	色	状態	色	状態	
緑	点滅3	緑	点滅3			起動中
オレンジ	点滅1					フラッシュ充電中
オレンジ	点灯					フラッシュ発光予告
緑	点灯					PCカメラモード使用時
緑	点灯					通常撮影撮影可
緑	点灯	緑	点滅3			通常撮影記録中(撮影可)
緑	点滅3	緑	点滅3			通常撮影記録中(撮影不可)
緑	点灯					連続撮影撮影可
緑	点滅3	緑	点滅3			連続撮影記録中(撮影不可)
緑	点滅1、2			赤	点滅1、2	セルフタイマーカウントダウン10〜2秒前
緑	点滅3			赤	点滅3	セルフタイマーカウントダウン2〜0秒前
赤	点滅3					メモリーエラー／未フォーマット

動作確認用ランプ		カードアクセスランプ		セルフタイマー用ランプ		内容
色	状態	色	状態	色	状態	
赤	点滅3					メモリーフル
赤	点滅3					記録エラー
赤	点滅3					電池交換警告
		緑	点滅1			スリープ中

再生モード

【カードアクセスランプ】はメモリーカードが入っているときのみ点灯、点滅します。

動作確認用ランプ		カードアクセスランプ		セルフタイマー用ランプ		内容
色	状態	色	状態	色	状態	
緑	点滅3	緑	点滅3			起動中
緑	点灯	緑	点滅3			通常再生
緑	点滅3	緑	点滅3			消去実行中
緑	点滅3	緑	点滅3			DPOF設定実行中
緑	点滅3	緑	点滅3			フォーマット中
赤	点滅3					メモリーエラー／未フォーマット
赤	点滅3					電池交換警告

故障とお思いになる前に

現象と対処方法

	現　象	考えられる原因	対　処
電源について	電源が入らない。	1）電池が正しい向きに入っていない。 2）電池が消耗している。 3）本機専用以外のACアダプターを使用している。	1）電池を正しい向きに入れる（→22ページ）。 2）新しい電池と交換する（→21ページ）。 3）本機専用のACアダプター（AD-C630J）を使用する。
電源について	電源が勝手に切れた。	1）オートパワーオフが働いた（→25ページ）。 2）電池が消耗している。	1）再度電源を入れ直す。 2）新しい電池と交換する（→21ページ）。
撮影について	【シャッター】を押しても撮影できない。	1）【モードスイッチ】が“▶”（再生）の位置になっている。 2）【フラッシュ】充電中である。 3）“メモリーフル”と表示されている。	1）“📷”の位置に合わせる。 2）【フラッシュ】の充電が終わるのを待つ。 3）いらない画像を消去する。または、別のメモリーカードをセットする。
撮影について	デジタルズームができない。	画像サイズが“S 800×600”になっている。	画像サイズを“L　1600×1200”にする（→36ページ）。
撮影について	セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	電池が消耗している。	新しい電池と交換する（→21ページ）。

	現　象	考えられる原因	対　処
撮影について	【液晶モニター】に表示される画像のピントがあまい。	1）被写体が風景や人物なのに、“ ”（マクロ）になっている。 2）マクロ撮影をしているのに、“ ”（標準）になっている。	1）風景や人物を撮影する場合は、【標準／マクロ切替スイッチ】を“ ”（標準）にする。 2）マクロ撮影をする場合は【標準／マクロ切替スイッチ】を“ ”（マクロ）にする。
	撮影したのに保存されていない。	1）記録が終了する前に電池切れになった。 2）記録が終了する前にメモリーカードを抜いた。	1）バッテリー残量表示が“ ”になったらすみやかに新しい電池と交換する。 2）記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。
再生について	再生した画像の色が撮影時に【液晶モニター】で見た色と違う。	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。	直接光がレンズに当たらないようにしてください。
	画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードを使用している。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードは、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
	テレビにつないでもテレビに本機の【液晶モニター】の表示内容が映らない。	1）本機とテレビを正しく接続していない。 2）テレビ側の設定が合っていない。 3）ビデオ出力の方式が違う。	1）専用ビデオコードを使って正しく接続する（→58ページ）。 2）テレビの取扱説明書をお読みになり、テレビの設定をビデオ入力に切り替えてください。 3）ビデオ出力の方式を変更する（→58ページ）。

	現　象	考えられる原因	対　処
消去について	“消去”を指定しても消去指定画面に移動できない。	記録されているすべての画像にメモリープロテクトがかかっている。	消去したい画像のメモリープロテクトを解除する(→49ページ)。
その他	すべてのボタンやスイッチが働かない。	他の周辺機器との接続中に静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池を取り出し、ACアダプターのプラグを本機から抜き、入れ直してから再度操作してみてください。
	【液晶モニター】がつかない。	1) スリープ機能が働いている。 2) USB通信中である。 3) ビデオケーブルが差してある。 4) 【モードセレクター】が“ FINDER”になっている。	1) 何かボタンを押して、スリープ機能を解除してください(→25ページ)。 2) メモリーカードにパソコンからのアクセスがないことを確認してUSBケーブルを抜いてください。 3) ビデオケーブルを抜いてください。 4) “ LCD”に合わせてください。
	パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。あるいは、PCカメラとして使用できない。	1) USBモードが正しくない。 2) USBドライバがインストールされていない。 3)カメラの電源が入っていない。	1)使用する用途に合ったUSBモードに切り替える(→55ページ)。 2)専用ソフト取扱説明書(インストール編)を参考にUSBドライバをインストールする。 3)カメラの電源を入れる(→25ページ)。

画面に表示されるメッセージ

エラー	複雑な被写体を撮影したときに、稀に規定の容量に圧縮できない場合があります。その場合、このメッセージが表示されます。
拡大再生ができない画像です	他のカメラで撮影した画像は、拡大再生できない場合があります。その場合、このメッセージが表示されます。
カードがプロテクトされています LOCKスイッチを解除してください	SDメモリーカードには、LOCKスイッチがついています。 ロックされている場合は撮影モードでは使用できません。
コピーエラー カード容量が足りません	メモリーカードの容量がコピーするデータより少ないときに表示されます。
電池を交換してください	電池がなくなったときに表示されます。
内蔵メモリではできません	DPOF設定は、カードにのみ設定可能です。 (53ページ)

内蔵メモリエラー MENUを押してフォーマットしてください および カードエラー MENUを押してフォーマットしてください	メモリーカードや内蔵メモリーに異常が発生した場合に表示されます。下記の操作で解除が可能です。 **重要!** • 下記の操作を行うとメモリーカード、または内蔵メモリー内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。下記の操作を行う前に、パソコン等を利用してメモリーカード、または内蔵メモリー内の正常なファイルを保存してください。 **1.【MENU】を押します。** **2.【▲】または【▼】で“はい”を選び【シャッター】を押します。** • 操作を中止したい場合は【MENU】を押します。 • フォーマットの操作を行うときは、ACアダプターを使用するか、新品のアルカリ電池、またはリチウム電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行われず、メモリーカード、または内蔵メモリーが正常に使用できない場合があります。 • フォーマットを終了すると“画像がありません”と表示されます。これは、フォーマットが正しく行われたことを示します。
メモリ フル 画質／サイズを変えるか消去してください	現在の画質／サイズでは撮影できなくなり、他の画質／サイズに切り替えるとまだ撮影できることを示しています。画質／サイズを切り替えるか(36ページ)、不要な画像を消去する操作を行う必要があります(46ページ)。

メモリ　フル 不要な画像を消去してください	●撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行いたい場合は、不要な画像を消去する操作を行う必要があります（46ページ）。 ●メモリーカードにパソコンからデータを転送したときに、メモリーカード内の空き容量が少ないために“DCIM”フォルダやその他のファイル（62ページ）が作成できない場合表示されます。パソコン上でメモリーカード内の不要なファイルを削除して、空き容量を増やしてください。【MENU】を押してフォーマットすることもできますが、メモリーカード内のデータがすべて消えてしまいます。
連写メモリが足りません 設定枚数を撮れません	被写体によっては、最大枚数の5枚分を連写できないことがあります。その場合はこのメッセージが表示されます。
🌷 📷 LCDにしてください モード変更！	【液晶モニター】を消し、ファインダーのみ使用して、マクロ撮影しようとしたときに表示されます。マクロ撮影は、【モードスイッチ】を“📷 LCD”に合わせ【液晶モニター】で見ながら撮影してください。

- ACアダプター　AD-C630J
- ACアダプターチャージャー　BC-3HA
- ニッケル水素蓄電池／急速充電器セット　BC-1HB4
- ニッケル水素蓄電池（4本セット）　NP-H3P4

カシオデジタルカメラに関する情報は、カシオホームページでもご覧になることができます。

http://www.casio.co.jp/

索引

英数字

ACアダプター 23
ACアダプターチャージャー 23
DCF 61
DPOF 50
EVシフト 37
MENUボタン 26
PCカメラ 63
PRINT Image Matching 53
QVNet 79
SDメモリーカード 40
USB端子 57,59,63
VIDEO OUT端子 57,58

あ

赤目軽減 30
アルカリ電池 21
印刷 51
液晶モニター 18
オートパワーオフ 25

か

拡大表示 44
画質の変更 36
画像サイズ 36
キャップホルダー 20

さ

再生 44
撮影 28
三脚穴 17
時刻を合わせる（日時設定） 26
シャッター 29
消去 46
　消去防止（メモリープロテクト） 49
ズーム 30
ストラップ 20
スライドショー 45
接写 32
セルフタイマー 35
操作音 55
ソフトケース 21

た

調光センサー 31
デジタルズーム 30
テレビとの接続 58
電源 21
電源のON/OFF 25
電池 21
　電池残量 23
　電池消耗防止 25
動作確認用ランプ 19,31,66

な

日時設定 26
ニッケル水素蓄電池 22

は

パソコンとの接続 59
ビデオコード 58
ビデオ出力方式 58
表示言語 54
ファイル 48,62
ファインダー 33
フォルダ 48,62
フラッシュ 30
ホワイトバランス 39

ま

マクロ撮影 32
マルチメディアカード 40
メモリーカード 40,60
　メモリーカードのフォーマット 42
メモリーカードカバー 40
メモリープロテクト 49

ら

リチウム電池 21
レンズ 15
レンズキャップ 20
露出補正 37

MEMO

QVNetのお知らせ

QVNetは入会無料！カシオ製デジタルカメラをお買い上げのお客様を対象としたインターネット上の会員制サービスです。

http://QVNet.casio.co.jp/

主なサービス内容 ※1

QVNet（会員制）

開発フォーラム
当社のQV開発者が直接応答

フリートーク
会員同士で自由に意見交換

ダウンロード
QV関連
ソフトダウンロード

撮影テク講座
講師陣が作例を示し
撮影テクを提供

QVNet News
QV最新情報をメールで配信

撮影画像掲示板 ※2
デジタルカメラ画像投稿用の掲示板

- 入会は簡単！会員登録とユーザー登録が同時に済みます。
- アンケートはがきを投函せず、ネット上での回答もＯＫ。
- ユーザー登録のしかた
  ユーザー登録はQVNet(http://QVNet.casio.co.jp/)の【ユーザー登録(会員登録)】から【ユーザー登録】の画面に入り、機種リストからご利用のデジタルカメラを選択して登録を行ってください。

その他のＱＶ関連ウェブ情報

QV PLAZA（一般公開）※3

QV INFO
製品情報

QV SUPPORT
各種FAQや動作確認情報

QV FAN
カシオ製デジタルカメラのファンサイトなどのリンク集

※1 QVNetのサービス内容は会員の意見・要望や公開アンケートの結果により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
※2 撮影テク講座と撮影画像掲示板は、会員以外の方でもアクセス可能です。
※3 QV PLAZAのアドレスはhttp://www.casio.co.jp/QV/です。